

## 平成30年度9月補正予算案のポイント

しあわせ信州創造プラン2.0の実現に向け、攻めと守りの政策パッケージに沿って「子どもや若者が希望を持てる」、「歳を重ねても安心して暮らせる」、「元気な産業が暮らしを支える」の3つの視点で取組を加速化するとともに、信濃美術館本館の改築工事に着手するための補正予算を編成

### 《主な内容》

#### 攻めと守りの政策パッケージ

##### ◎視点1「子どもや若者が希望を持てる」

- ・「学びの県づくり」を県民とともに推進するため、フォーラムを開催
- ・ふるさと信州寄付金などの活用により、高校生の海外留学を支援
- ・保育士人材バンクの機能強化や多子世帯への支援など子育て応援施策を充実
- ・今夏の猛暑を受け、県立学校に空調設備を早期・計画的に整備

##### ◎視点2「歳を重ねても安心して暮らせる」

- ・地域包括ケア体制の確立に向け、市町村の取組状況を多角的に分析し公表
- ・平成30年7月豪雨災害等を踏まえ、防災・減災対策を加速化

##### ◎視点3「元気な産業が暮らしを支える」

- ・第3の成長分野として医療機器産業の振興に向けた取組を推進
- ・地域内経済循環モデルの構築に向けた検討に着手
- ・外国人にもわかりやすい案内標識の整備を促進
- ・交通事業者と連携し、木曾地域等の観光復興・活性化を支援

#### 信濃美術館本館の整備

- ・信州の魅力を発信する文化・観光の拠点とするため、2021年度のオープンに向けた改築工事に着手

### 《補正予算額》

一般会計	75億9589万4千円
(債務負担行為)	101億9937万4千円
特別会計〔流域下水道事業費〕	5億3704万8千円

## 攻めと守りの政策パッケージ

### ◎ 視点1「子どもや若者が希望を持てる」

#### (新) 「学びの県づくり」を推進するためのフォーラム開催 300万円

〈企画振興部〉

すべての県民が主体的に学び、個々の持つ能力を最大限発揮できる「学びの県づくり」を県民とともに推進していくため、その第一歩としてフォーラムを開催

- ・「学びの県づくり」フォーラムの開催:2回  
〔成果目標 フォーラム参加者数:1,000人以上(2018年度)〕

#### (新) 高校生の海外短期留学への支援 146万8千円

〈教育委員会〉

グローバル人材を育成するため、2022年度までの留学者倍増を目指し高校生の留学を支援

- ・2018年度:①台湾高雄市への派遣(20名)  
②県企画留学プログラムの拡充と個人留学への支援に向けた寄付金の募集
  - ・新たな手法※によるふるさと信州寄付金の募集
  - ・企業版ふるさと納税の活用や留学プログラムへのスポンサー制度の導入による企業からの寄付の促進※事業に着目したクラウドファンディング型
- ・2019年度以降:県企画留学プログラムの拡充・実施、個人留学を支援  
〔成果目標 海外へ留学したい高校生の割合:32.6%(2019年度)〕  
〔成果目標 高校生のうち留学者の割合:1.4%(2022年度)〕

#### 保育士人材バンクの機能強化 375万1千円

〈県民文化部〉

県内保育所の保育士不足解消に向け、就業希望者のバンク登録を促進するとともに、採用を希望する保育所とのマッチングをきめ細かく実施

- ・中信地区へのコーディネーターの追加配置(全県1名→2名)
- ・県内保育士養成校と連携した学生向け就職ガイダンスの開催
- ・潜在保育士等を対象とした就業希望調査の実施  
〔成果目標 就業希望者の登録数:350人(2020年度)〕  
〔成果目標 就業希望者に対するマッチング成功率の上昇:35%(2020年度)〕

#### 「多子世帯応援プレミアムパスポート」の協賛店開拓 306万8千円

〈県民文化部〉

子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、各種割引等のサービスを提供する「多子世帯応援プレミアムパスポート」の協賛店を重点的に開拓

- ・「多子世帯応援プレミアムパスポート」の新規協賛店の開拓
- ・スポーツ施設、文化施設など子どもの体験につながる分野の開拓  
〔成果目標 多子世帯応援プレミアムパスポート新規協賛店:200店(2018年度)〕

#### (新) 県立学校への空調設備の整備 1億34万円

〈教育委員会〉

今夏の猛暑を受け、県立高校及び特別支援学校の全ての普通教室等に空調設備を整備

- ・第1期 高校25校、特別支援学校13校(2019年夏までに整備):設計(2018年)、工事(2019年)  
※高校:室温が高かった学校から優先設置  
特別支援学校:普通教室に完備していない学校にすべて設置
- ・第2期 高校57校、特別支援学校5校(2020年夏までに整備):設計(2019年)、工事(2020年)  
〔成果目標 高校及び特別支援学校の普通教室のエアコン設置率:100%(2020年夏)〕

## ◎ 視点2 「歳を重ねても安心して暮らせる」

### (新) 地域包括ケア体制構築状況の「可視化」 250万円

〈健康福祉部〉

地域包括ケア体制の確立に向けて、市町村が取り組むべき課題を明確にし、県による伴走型支援等を実施するため、地域包括ケア体制の構築状況を調査・分析し県民にわかりやすく公表

- ・県内全日常生活圏域(165)の地域包括ケア体制や取組等の調査・分析
- ・調査結果を図表化等により公表

〔成果目標 要介護(要支援)認定者のうち自宅または地域で暮らしながら介護サービスを受けている者の割合:83.0%以上(2020年度)〕

### 防災・減災対策の加速化[県単独公共事業] 41億6512万2千円

〈建設部、農政部、林務部〉

(債務負担行為 4億2800万円)

平成30年7月豪雨等を踏まえた防災・減災対策を加速化

- ・河川に堆積した土砂・流木の緊急除去、支障木伐採
- ・道路の通行止めを未然に防ぐ落石・路肩崩落の防止対策
- ・災害時の緊急輸送路等の強靱化を進める道路改築
- ・土砂流出を予防するための溪流保全や石積み堰堤の修繕
- ・農業用水路の法面崩落、荒廃森林の拡大防止 等

※防災・減災対策として過去10年間で最大規模の補正額

### 平成30年7月豪雨等により被災した道路・河川等の復旧 27億4547万6千円

〈建設部、林務部〉

[災害復旧事業] (債務負担行為 5億1870万3千円)

平成30年7月豪雨等により被災した道路、河川、治山施設等を迅速に復旧

- ・道路・河川:王滝村(日向淵)護岸復旧ほか44か所
- ・林道・治山施設:小谷村山腹施設復旧ほか20か所

### 台風21号による農作物等被害への支援 872万5千円

〈農政部〉

台風21号による農作物等の被害に対して市町が行う緊急対策事業を支援

- ・被害樹の植替えのための種苗、農作物等の被害を最小限に抑えるために必要な果樹棚等の資材の購入 等  
(事業主体:塩尻市ほか5市町、補助率:1/2以内)

### 地籍調査の促進 1355万4千円

〈農政部〉

災害発生時に迅速な復旧作業を行えるよう、地籍調査に係る事務処理の円滑化に取り組む市町村を緊急支援

- ・地籍調査成果を確認する「認証」に必要な専門書類の作成に係る費用への助成  
(事業主体:市町村、補助率:1/2)
- ・地籍調査を円滑に進めるための調査マニュアルの作成

〔成果目標 地籍調査完了地区の認証:88地区(2018年度)〕

## ◎ 視点3 「元気な産業が暮らしを支える」

### 【本県の強みを活かした産業づくり】

#### (新) 医療機器関連産業の集積形成 2712万5千円

〈産業労働部〉

本県の強みである材料技術や超精密加工技術などを活かした県内企業の本格的な医療機器産業への参入を促進するため、国内での新規医療機器(完成品)の開発・事業化と世界市場への医療機器部材の供給を支援

- ・医療機器産業振興ビジョンの策定
  - ・専門家の知見を活用した医療機器の事業化開発支援体制(信州医療機器事業化開発センター(仮称))の整備
  - ・海外への医療機器部材供給に向けた市場調査の実施
  - ・工業技術総合センターへの試作開発支援機器の整備
- [成果目標 医療機器開発支援件数:10件(2019年度)]  
[成果目標 海外への部材供給支援件数:10件(2019年度)]

#### (新) 地域内経済循環モデルの構築に向けた検討 270万円

〈産業労働部〉

地域における自主的な地域内経済循環の取組を促進するため、その有効性や意義等の概念を理論的に整理

- ・地域内経済循環の効果の調査・分析
- ・循環モデル構築の検討

#### (新) 食のグローバル展開の推進 802万7千円

〈産業労働部〉

県産加工食品の海外での販路開拓を促進するため、品目別の海外市場戦略を策定するとともに、民間事業者と県が連携した初めてのテストマーケティング拠点を海外に設置

- ・食市場の調査・分析、品目別の海外市場戦略策定
  - ・海外拠点における県内事業者へのテストマーケティングの機会提供
- [成果目標 加工食品の輸出額:69億円(2022年度)]  
[成果目標 テストマーケティング実施事業者数:4社(2018年度)]

#### (新) リゾートテレワーク拠点(商店街活用型)の整備 1900万円

〈産業労働部〉

リゾート地で一定期間、「休暇」と「仕事」を両立する新たなライフスタイル(ワーケーション)の場の提供を通じ、地域の活性化を図るため、モデル地域が行う商店街の空き店舗等を活用したリゾートテレワーク拠点整備を支援

- ・モデル地域(3地域)におけるリゾートテレワーク拠点整備等への支援
  - ・本県の取組や魅力、優位性、実施地域の特徴等の統一的な情報発信
- [成果目標 リゾートテレワーク実施者数:3,000人(2020年度)]

## 【魅力ある観光地域づくり】

### (新) 外国人にもわかりやすい案内標識の整備促進 297万4千円 <観光部>

インバウンド誘客の促進を図るため、外国人にもわかりやすい案内標識の整備に向けた調査等を実施

- ・外国人チームによるモニター調査の実施
- ・モデル地域における案内標識の整備検討への支援

〔成果目標 外国人チームによるモニター調査箇所数:4地域(2018年度)〕

### (新) 観光情報の戦略的な発信の強化 324万円 <観光部>

「感動県」づくりに向け、文化、スポーツ、アウトドア情報など、観光客のニーズに応じた訴求力の高い観光情報を発信するため、県観光サイト「さわやか信州旅.net」を全面的にリニューアル

- ・Webサイトリニューアル戦略の策定
- ・コンテンツやシステム的设计

〔成果目標 サイトへの訪問数(セッション数):5,039千件(2020年度)〕

### (新) 交通事業者と連携した効果的な情報発信の実施 700万円 <観光部>

木曾・南信州エリアにおける誘客促進を図るため、交通事業者とタイアップし、中京圏など県内外に情報を発信

- ・PR時期やテーマを統一した情報発信事業の実施

〔成果目標 観光消費額(木曾・南信州エリア):209億円(2019年)〕

### (新) 中部国際空港からの外国人スキーヤー向け直行バスルートの確立 400万円 <観光部>

東アジアを中心に外国人スキーヤーの新規需要を掘り起こすため、新たなアクセスルートとして中部国際空港からの直行バスルートを構築

- ・中部国際空港から白馬・柵池エリアへの直行バス運行支援
- ・外国人スキーヤーの消費動向調査分析

〔成果目標 直行バス利用者の延べ宿泊者数:2,000人(2018年度)〕

## 信濃美術館本館の整備

### 信濃美術館本館の改築 (債務負担行為 92億25万9千円) <県民文化部>

2021年度の開館に向けた工事手続に着手するため、債務負担行為を設定

- ・概要: 要: 信州の魅力を発信する文化・観光の拠点とするため、信州の山並みや善光寺門前と一体化した風景画のような美術館「ランドスケープ・ミュージアム」を整備

- ・施設規模: 延床面積 10,000㎡ (地上3階、地下1階)

## 信州まつもと空港の発展・国際化

### 信州まつもと空港の慢性的な駐車場不足の解消 2億1686万2千円 <企画振興部> (債務負担行為 5241万2千円)

駐車場を増設するため、新たに用地を取得し造成

- ・駐車場増設予定地の用地取得・造成工事等の実施

〔成果目標 駐車場増設:250台(2019年度)〕